

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉審査資料	
資料番号	KK67-0113
提出年月日	平成28年8月17日

## 柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉

格納容器下部注水系の電源について

平成28年8月

東京電力ホールディングス株式会社

原子炉格納容器下部注水設備の多重性又は多様性及び独立性，位置的分散について

原子炉格納容器下部注水設備の電動弁の駆動電源について以下のとおり多重性及び独立性，位置的分散を確保する設計とする。

(3.8 原子炉格納容器下部の熔融炉心を冷却するための設備【51 条】の以下の箇所を修正する。)

### 3.8.2.1.3 多重性又は多様性及び独立性，位置的分散の確保

原子炉格納容器下部注水系は，常設及び可搬型を設置することにより，表 3.8-2 に示す通り，それぞれに対し多様性及び位置的分散を図る設計としている。

ポンプについては，廃棄物処理建屋に設置された常設の復水移送ポンプに対し，可搬型代替注水ポンプ(A-2 級)を用いることで，多様性及び位置的分散を図った設計としている。

水源については，可搬型代替注水ポンプ(A-2 級)を使用する際は，淡水貯水槽，防火水槽又は海水を用いる事で，常設の復水移送ポンプを使用する場合の水源である，復水貯水槽との多様性，位置的分散を図った設計としている。

駆動電源については，常設の復水移送ポンプを使用する際は分散配置された代替交流電源設備を用いるのに対し，可搬型代替注水ポンプ(A-2 級)を用いる場合は，電源を必要としない駆動方式であること及び，分散配置を実施していることから，多様性及び位置的分散を図った設計としている。

なお，下部ドライウェル注水流量調節弁と下部ドライウェル注水ライン隔離弁については，多重性及び位置的分散を図った非常用所内電気設備もしくは代替所内電気設備を経由し代替交流電源設備から給電可能な設計としている。

表 3.8-2 原子炉格納容器下部注水系の多様性及び位置的分散

項目	原子炉格納容器下部注水系 (常設)	原子炉格納容器下部注水系 (可搬型)
ポンプ	復水移送ポンプ	可搬型代替注水ポンプ(A-2 級)
	廃棄物処理建屋地下 3 階	屋外
水源	復水貯蔵槽	淡水貯水池，防火水槽，海水
	廃棄物処理建屋地下 2 階	屋外
駆動用空気	不要	不要
潤滑油	不要	不要
冷却水	不要 (自滑水)	不要
駆動電源	常設代替交流電源設備 (第一ガスタービン発電機及び第二ガスタービン発電機)， 可搬型代替交流電源設備 (電源車)	不要
	屋外 (7 号炉タービン建屋南側 及び荒浜側常設代替交流電源 設備設置場所)	—

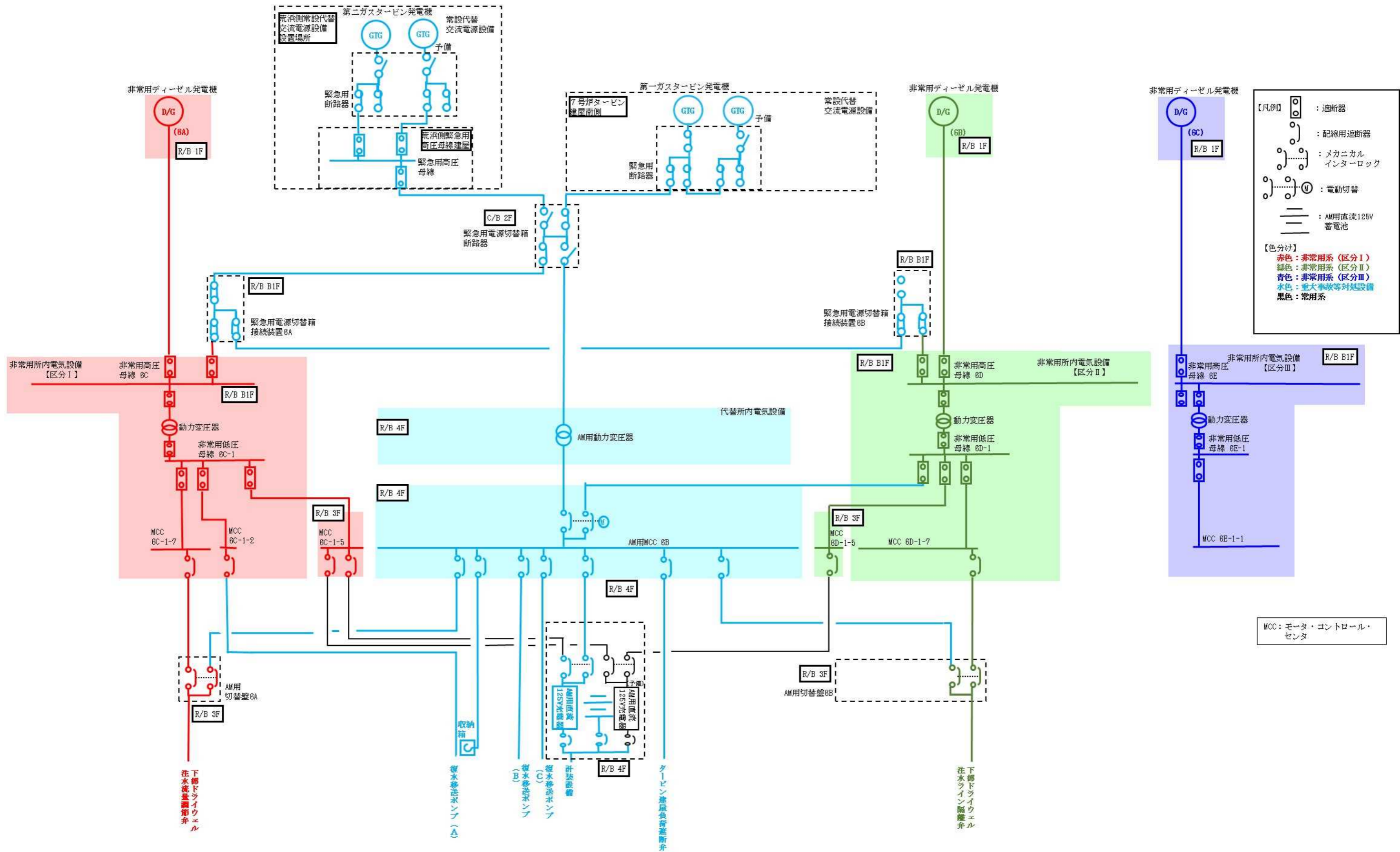


図1. 単線結線図 (6号炉)

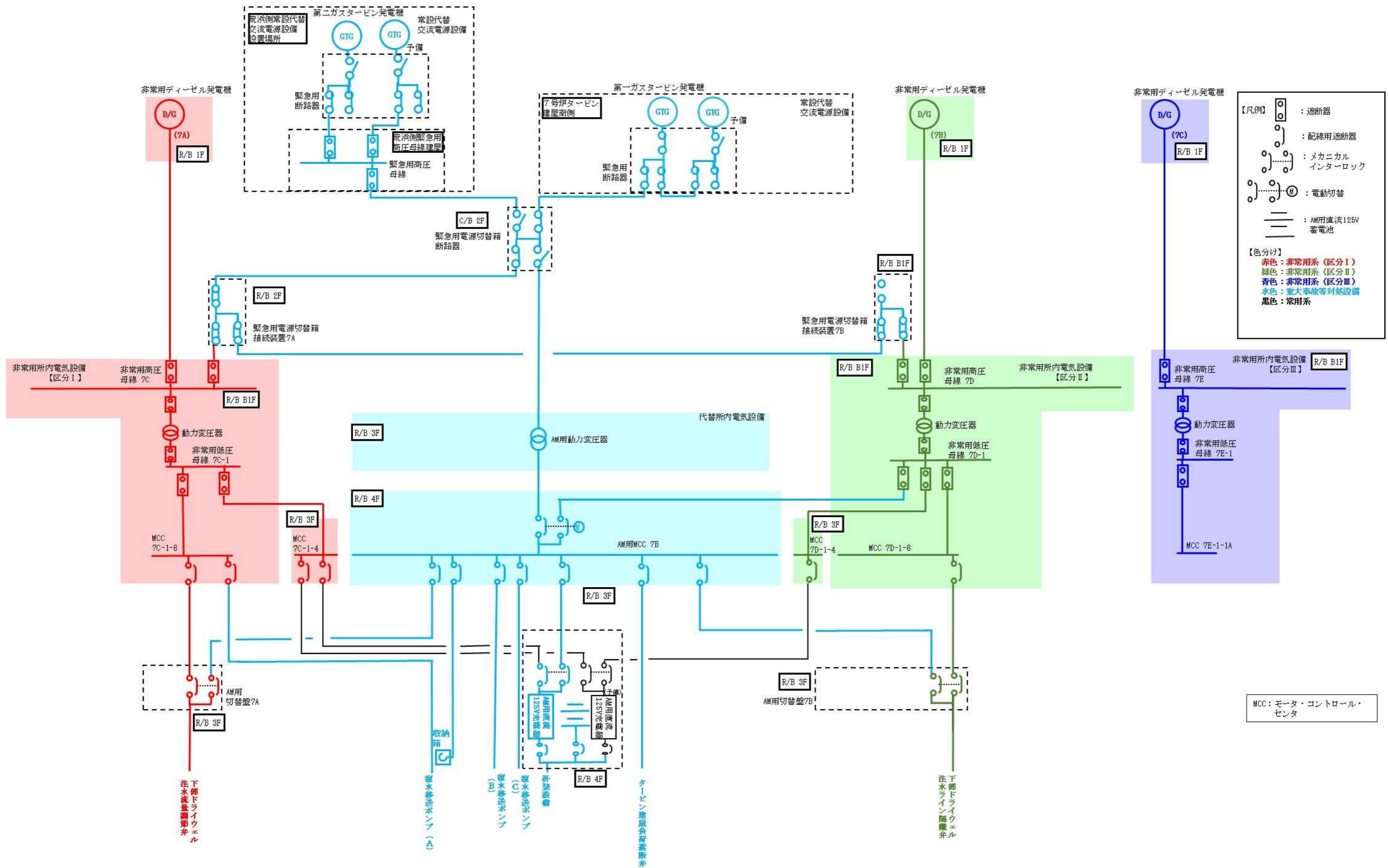


図2. 単線結線図 (7号炉)